

公共交通機関の リアルタイム乗客数カウント

概要

営利を目的とする企業には、どのような分野であっても共通の目標があります。それは、日々のビジネスを最適化し、コストを削減し、収益を上げることです。この目的を達成するためには、重要な意思決定をする前に貴重なデータを収集する必要がありますが、これまで以上に革新的な方法で取り組む必要があります。大量のデータを収集することの問題点は、意思決定プロセスに適用する前にデータが古くなり、それ故に結果が良くないことが多いことです。市場競争力を維持するためには、リアルタイムにデータを収集し、即座にアクションを起こすことが必要になってきています。

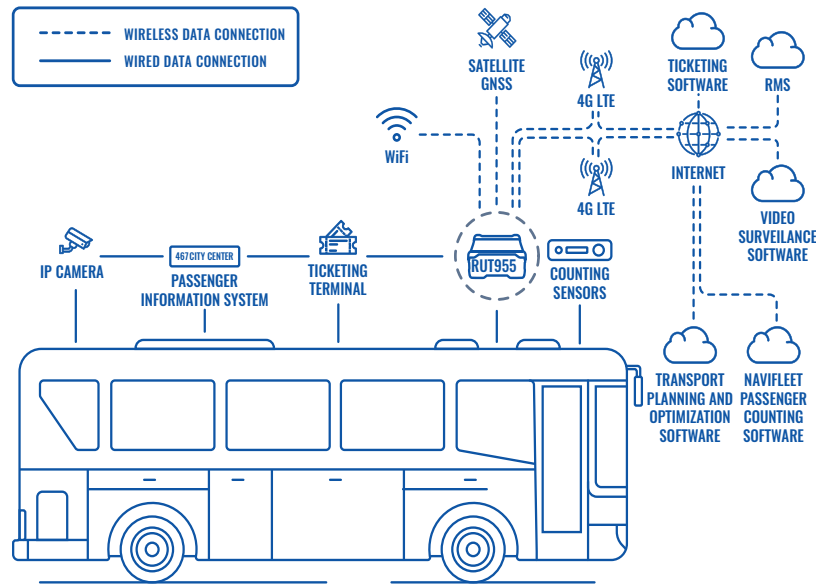
挑戦

そのため、公共交通機関の運営を最適化するためのタイムリーな意思決定をおこなうには、リアルタイムデータが不可欠であることを立証しました。しかし、問題は、どのような種類のデータが重要であり、それをどのように収集してリアルタイムで共有して有効性を高めるかということです。輸送頻度を最適化する上で最も重要な要因は、乗客の数です。ある期間のデータではなくリアルタイムのデータを持つことは、特定の時間に正確に何が起きているのかを知り、過密を避けるためにスケジュールに追加のバスを増便するなどすぐに調整できるため、顧客体験が向上するため優れています。しかし、これは実生活でどのように起こりますか? 絶えず移動する車両にリアルタイムでデータを収集および送信できるシステムを実装するには、高度な計数装置とクラウドベースのアプリケーションだけでなく、信頼性の高い接続ソリューションも必要です。

パートナー EcoTelematics Group

EcoTelematics Group Oylは、旅客輸送業界向けのソリューションの開発とインテグレーションを専門とするフィンランドの企業です。同社は、公共交通機関のコスト削減と業務効率化のための革新的なプロジェクトを生み出すことに注力しています。NaviFleet Passenger Counting Platformは、経費削減、乗客の安全性向上、車両運行の最適化に大きく貢献するソリューションです。

トポロジー



ソリューション

NaviFleet APCソリューションは、RUT955ルータを使用します。乗客計数センサーはイーサネットインターフェースを介して接続され、NaviFleet APCファームウェアはリアルタイムのデータ収集に使用されます。NaviFleet APCファームウェアは、最もよく知られている乗客の計数センサーと互換性があります。RutOS OpenWRTと統合されたNaviFleet APCファームウェアは、ネットワーク継続性のためにWi-Fiまたは4G経由でNaviFleetクラウドサーバーソフトウェアに乗客カウント情報を送信します。送信されるデータには、正確なGPS追跡情報、ジオフェンシングデータ、走行距離、運転時間と停止時間、乗客の流れデータなどが含まれます。高度なNaviFleet APCファームウェアは、ビデオIPカメラ、呼吸分析装置、乗客情報システム、発券端末などの追加デバイスを接続できます。

メリット

- コスト効率：NaviFleet APCとRUT955を組み合わせることで、非常に競争力のある価格帯でソリューションを提供することができます。
- ソリューション全体の容易な管理：クラウドベースの管理プラットフォームは、簡単なキャプティブポータル管理、カウントセンサーへの接続や位置追跡を提供します。
- 複数の接続オプション：RUT955は、信頼性が高く安全なLTE Cat 4、Wi-Fi、イーサネット、GPSを組み合わせています。
- OpenWRTベースのRutOS：さまざまな有用なアプリケーションを作成し、増加する市場の要件に対応することができます。

なぜテルトニカなのか？

EcoTelematics Group Oyは、テルトニカのRUT955を選んだ理由について、「RutOSにより、RUT955用の特別なファームウェアを作成し、NaviFleet Passenger Counting Solutionsにシームレスにインテグレートすることができました。EcoTelematics Group Oyとテルトニカは、乗客数カウントソリューションを使用して、ほとんどの公共バス事業者と公共交通機関当局を支援し、乗客のためのサービスを改善し、運用を最適化することができます。」

